

浴衣で養浩館ウォークを開催しました

○第1回 7月18日(土)

中国、インドネシア、タイなど福井市に住む外国人13名が参加してくれました。

まず、国際交流会館で先生から浴衣の説明を受け、着付けにチャレンジ。

帯の結び方が難しそうでしたが、先生に教わりながら着ることができました。

着付けの後は、養浩館へ移動して散策しながら写真を撮りました。みんな「映える」スポットを探してポーズを取り、盛り上がり写真を撮っていました。



梅雨の晴れ間の水面に鮮やかな浴衣が映え、観光客の方から「綺麗だね。」とのお声をいただきました。



きっとSNS仲間に羨ましがられたことでしょう。撮った画像は、母国にも送ってくれたかな？

○第2回 8月22日(土)

前回の「浴衣で養浩館ウォーク」にたくさんの応募をいただき、募集人数を超えてしまったので、追加で実施したところ、ベトナム、アメリカ、ミャンマー、ペルー、中国など14名の方が参加してくれました。

着物の裾の長さを調節したり、結んだ帯の形が綺麗になるようにと四苦八苦しながら、着付け完了です。着付けだけでなく、浴衣を着ているときの所作も学びました。

国籍、年齢を問わずみんなで仲良く「映える」写真を取り合っていました。



暑い日でしたが、よい夏の思い出になったでしょうか。



公益社団法人ふくい市民国際交流協会 令和2年度会員募集中！！

あなたも国際交流協会員になりませんか？(年会費) 個人会費1口 3,000円 法人会費1口 10,000円

活動レポート

異文化理解地域交流促進事業

7月20日（水）順化地区デイホーム

インドネシア出身のデビさんが、新しくなった順化公民館の大ホールで母国の踊りや生活習慣を紹介しました。

イスラム教での風習が日本と大きく違うことやインドネシア語でのあいさつなどをお話ししました。皆さん、宗教の違いが生活に大きく影響していることを感じてくださったようです。



7月29日（水）越廼地区デイホーム

インドネシア出身のデビさんが、衣装を変えて、今回は越廼公民館で母国を紹介しました。

インドネシアは多くの島からできていて、日本に来ているインドネシア人は遠くの島から来ている人が多く、彼らはとても親孝行だという話など、本や Web ではなかなか知ることができない話をさせていただきました。

説明する写真やイラストが色鮮やかで、インドネシアのイメージになったようです。



8月5日（水）ふじ児童館

ロシア出身のビクトリアさんが母国を紹介しました。子どもたちはロシアの学校生活について興味深々な様子で、ロシアの小学生は夏休みに宿題がないという話には、

「えー！！」

と驚きの声があがりました。

また、〇×クイズや、「コインを持っているのは誰だ」「ロシア語伝言ゲーム」などのゲームを楽しみながら、ロシアについての理解を深めました。



8月6日（木）たけのこ児童館

インドネシア出身デビさんが母国を紹介しました。インドネシアの食べ物・フルーツ・動物などについて写真を使って説明してくれました。イスラム教の説明では聖地メッカを巡礼する人の多さに子ども達が驚いていました。

また、「アングルン」という竹製の楽器演奏も楽しみました。



8月19日（水）清水東デイホーム

ロシア出身のビクトリアさんが、ロシアの観光、食文化、行事、生活などについて紹介しました。参加したみなさんは、

「旅行に行ったような気分になれた」と話していました。

講座の最後には、参加者から手作りの菅笠のミニチュアをプレゼントしていただきました。



市民交流活動促進事業

8月3日（月）、明道中学校生徒会のみなさんがアメリカの姉妹都市であるフラトン市とニューブランズウィック市へのメッセージを持ってきてくれました。コロナ禍の中、「みんなの沈んだ気持ちを明るくしたい」との思いで企画されたそうです。

3年生からの励ましの思いが英語で書かれており、かわいいイラストつきです。メッセージは当協会から両市へ発送しました。



青少年作品交流事業

ワシントンにある国際姉妹都市連合が主催する絵画展に昨年応募した富田美月さんの作品「傘のような存在 ～Be like an umbrella～」が最優秀賞を受賞されました！

その栄誉を称え、9月4日（金）福井市総合ボランティアセンターにて授賞式を行いました。



富田さんの絵には国には傘のように人を守るような存在であってほしいという強い祈りが表現されています。

また、富田さんの絵はニューブランズウィック市の姉妹都市の看板デザインになり、同市内の街角に約5年配置することが予定されています。

富田さんは現在、デザイン学科でグラフィックデザインを勉強中とのことでした。これからの活躍が非常に楽しみです。



NB市で展示される看板のイメージ図

韓国水原市とのスカイプ交流

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な行事ができなくなってしまい、このスカイプ交流も両市の間はオンラインで交流していますが、両市の市民がそれぞれの施設に集まって「3密」になっていたため3月、4月は実施できませんでした。

そこで、参加者がそれぞれ自宅からオンラインで交流する方法にチャレンジし、5月から、数名が自宅のPCやタブレットからスカイプに参加して、今後の交流の方法について話し合い、事前に接続や操作方法の勉強会も行いました。

初めてのZOOM交流となった7月13日（月）は、福井市10名、水原市7名での開催となりました。

济州島へ旅行に行った話や人気のドラマ、就職活動、日本語の勉強、韓国ドラマに出てきた日本の絵本の話などで、文化の違いもあって、「へ～っ」て知らない内容が多く出てきます。



参加者それぞれの音量がまちまちで調整したり、途中で映像が途切れてしまったりとハプニングもありましたが、皆さん、とても楽しんで1時間30分の交流を終えることができました。

また、8月10日（月）、9月14日（月）にもオンライン交流を開催し、お盆の出来事や料理などについて話が盛り上がりしました。

しゃべり場

しゃべり場も4月、5月は実施できませんでした。6月にZOOMを使ってオンラインで実施し、7月からは「3密」にならないよう気をつけながら通常通り開催しています。

季節の行事や漢字、クイズなど参加者のみなさんと楽しく交流しています。スケジュールをご確認の上、ぜひ参加してください。





令和2年度ふくい市民国際交流協会定時総会

6月27日(土)、6名の正会員が出席し(委任状6名、書面による議決権行使38名)、令和元年度の事業報告、決算報告、役員人事などが審議され、すべて可決承認されました。また、令和2年度事業計画、収支予算が説明されました。

おもてなし英語会話集 vol.1 を発行しました

福井を訪れる外国人旅行者に、英語で道案内や福井の見どころなどを伝えるための会話集を作成しました。

第1冊目は福井駅前周辺を取り上げています。駅で困っている外国人を案内したり、駅周辺の養浩館や福井城址などの観光地をお勧めしたり、様々な場面で使えるフレーズを掲載しています。全13ページです。

当協会会員の方で希望される方に差し上げますので、ご希望の方は協会事務局までご連絡ください。



11月

- 日本語サポートクラス
日時：7日、21日(土)
10:00~11:30

会場：ふくい市民国際交流協会 会議室

- 外国人の防災講座
日時：8日(日) 10:30~12:00
会場：ふくい市民国際交流協会 会議室

- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：9日(月) 19:00~20:30

- しゃべり場
日時：15日(日)、28日(土)
10:00~12:00
会場：ハピリン4階総合ボランティアセンター

12月

- 日本語サポートクラス
日時：5日、19日(土)
10:00~11:30

会場：ふくい市民国際交流協会 会議室

- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：7日(月) 19:00~20:30

- しゃべり場
日時：12日、26日(土) 10:00~12:00
会場：ハピリン4階総合ボランティアセンター

スケジュール

10月

- 日本語サポートクラス
日時：3日、17日(土)
10:00~11:30

会場：ふくい市民国際交流協会 会議室

- ワールドツアー バングラデシュ編
日時：4日(日) 10:30~12:00
会場：ふくい市民国際交流協会 会議室

- 韓国水原市とのオンライン交流
日時：12日(月) 19:00~20:30

- しゃべり場
日時：24日(土) 10:00~12:00
会場：ハピリン4階総合ボランティアセンター



編集後記

5月より勤務することになりました八原(やはら)あかねです。趣味は登山、読書で、これからの季節は紅葉登山を楽しむ予定です。コロナ禍でのスタートとなっていました。感染対策を行いつつ再開した事業に勉強しながら関わらせてもらっています。養浩館ウォークはわたしにとっても楽しい思い出になりました。これからどうぞよろしくお祈りします！

